

## 国際園芸博覧会招致推進の取組状況等について

横浜市では、旧上瀬谷通信施設において、国際園芸博覧会(以下、「園芸博」という。)の招致を推進しており、これまで国への開催要請等を行ってきました。

今後、国において、本格的な検討が行われる予定であり、本市においても、国や経済界をはじめとする関係者と調整・連携し、園芸博招致に向けた取組を進めていきます。

## 1 最近の取組状況

時 期	内 容
平成30年 3 月	「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会基本構想案」策定
平成30年 6 月	「国の制度及び予算に関する提案・要望」の中で、菅内閣官房長官、磯崎農林水産副大臣、あきもと国土交通副大臣に園芸博開催に向けた検討を要請
平成30年11月	「国の制度及び予算に関する提案・要望」の中で、引き続き、園芸博開催に向けた検討を要請

## &lt;通年の取組&gt;

- ・園芸博の招致活動に用いる広報ツールの作成等の実施
- ・旭区連合自治会町内会連絡協議会、瀬谷区上瀬谷通信施設返還対策協議会、旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会などにおいて、これまでの取組状況等の報告

## 2 今後の予定 ※平成31年度予算案計上事業

## (1) 地元誘致団体の設立

地元の地方自治体、経済界などが連携し、園芸博の誘致活動や地域の協力体制の構築、機運醸成などを行うため、地元誘致団体を平成31年 5 月下旬頃に設立します。

## (2) 来場者の輸送アクセス計画等の検討

農林水産省及び国土交通省で行われる園芸博に関する検討状況を踏まえ、園芸博の招致に必要な来場者の輸送アクセス計画や事業展開等の検討を行います。

## (3) 広報・機運醸成の取組

チラシの配布やポスターの掲示などを行い、市民や事業者等の皆様への広報・機運醸成を図ります。旧上瀬谷通信施設がある旭区や瀬谷区をはじめ、区制 50 周年記念事業などのイベントと連携した取組を進めます。

## (4) 国際園芸家協会(AIPH)の総会等での広報

開催承認機関である国際園芸家協会の総会等に参加し、横浜での園芸博招致に向けた広報を行います。

開催時期	会議名	開催場所
2019年 4 月	2019春会議	オランダ(アムステルダム)
2019年 9 月	2019秋総会	中国(北京)

### (5) 2019年北京国際園芸博覧会での広報

中国北京市で2019年4月から10月に開催される2019年北京国際園芸博覧会において、招致活動の一環として、開催期間中、広報用映像の放映等を行います。

#### <参考1> 2019年北京国際園芸博覧会の概要

カテゴリー	AIPH (国際園芸家協会) A1 認定 BIE (博覧会国際事務局) 認定
開催時期	2019年4月29日～10月7日 (162日間)
会場	北京市延慶区 (北京市中心部から北西に約80km)
会場規模	960ha(うち、展示区域503ha)
来場者想定	1,600万人(うち、20%は海外来訪者)



会場鳥瞰図

#### <参考2> 日本国政府の出展概要

担当省庁	国土交通省 (屋外出展担当) 農林水産省 (屋内出展担当)
出展面積	2,550 m <sup>2</sup>
出展内容	日本庭園、屋内出展施設



日本国政府 出展イメージ

### 3 想定される開催決定までの流れ

